

## THEOインカム・ファンド(世界の債券中心)

元本確保型の商品ではありません

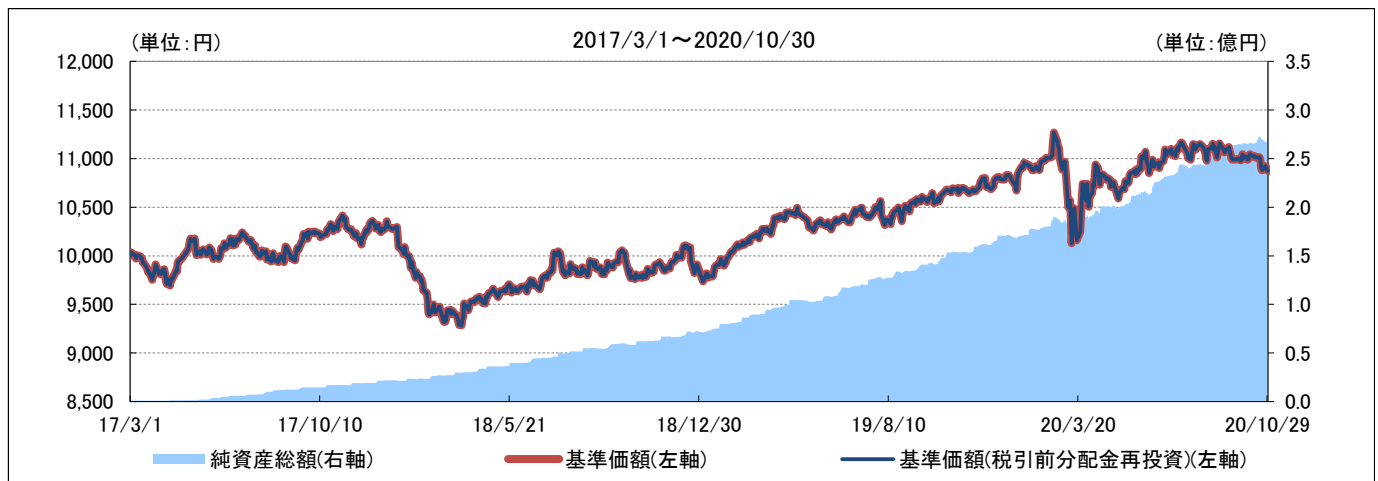
### ◆ファンドの特色

- ・主な投資対象： 債券を中心とするETFへ投資することで、イールド(裏付け資産からの利息等を主な原資にETFが生み出す)を重視し、世界各国の金利水準を享受し、安定的なリターンを目指す商品設計となっています。国債・社債などの債券や一部先進国や新興国のハイイールド債などが投資対象です。
- ・ベンチマーク： 当ファンドにはベンチマークがありません。

### ◆基準価額、純資産総額

基準価額	10,874円
純資産総額	2.66億円

\* 基準価額は、分配金控除後です。



- \* 基準価額(税引前分配金再投資)は、税引前の分配金を決算日の基準価額で再投資したものととして委託会社にて計算しており、実際の騰落率とは異なります。
- \* 基準価額及び基準価額(税引前分配金再投資)の計算において信託報酬は控除されております。
- \* 分配実績がない場合、あるいは設定来累計の分配金額が少額の場合、基準価額及び基準価額(税引前分配金再投資)のグラフが重なって表示される場合があります。

### ◆ファンド(分配金再投資)の収益率とリスク(標準偏差)

	過去1ヵ月間	過去3ヵ月間	過去6ヵ月間	過去1年間	過去3年間	過去5年間	過去10年間	設定来
ファンド収益率(分配金再投資)	-1.53%	-1.05%	1.29%	1.65%	1.91%	—	—	2.31%
ファンドリスク(分配金再投資)				3.91%	5.10%	—	—	4.77%

- \* ファンド収益率(分配金再投資)とは、当ファンドの決算時に収益の分配金があった場合に、その分配金で当ファンドを購入(再投資)した場合の収益率です。
- \* 収益率・リスクともに月次収益率より算出。なお設定日が月中の場合、設定日が属する月の月次収益率は含んでいません。
- \* 収益率は期間が1年以上の場合は年率、期間が1年未満のものについては年率換算していません。
- \* 過去の実績を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。

### ◆組入上位5銘柄 (組入れ銘柄数:9銘柄)

銘柄名	ファンドウエイト
1 ISHARES MBS ETF	20.04%
2 ISHARES 7-10 YEAR TREASURY B	19.83%
3 ISHARES 20+ YEAR TREASURY BO	15.06%
4 SPDR BBG BARC ST HIGH YIELD	10.03%
5 ISHARES SHORT-TERM CORPORATE	9.61%

\* 比率はマザーファンドにおける純資産総額比です。

### ◆ファンドマネージャーのコメント

インカム・ポートフォリオは米ドルベースで0.71%下落し、円ベースでは1.49%の下落となりました。10月においては、追加景気支援策の協議の大統領選後への延期を受け、米国国債金利が上昇しました。また、月末にかけてヨーロッパでの新型コロナウイルス感染症再拡大に伴う行動制限の強化を受け、期中、クレジットスプレッドが拡大しましたが、投資家の選好がリスクオフへと変わったことから結果的には月次では小幅縮小となりました。その結果、クレジットリスクの高い債券である、米ドル建てハイイールド債券は0.02%、米ドル建て短期ハイイールド債券は0.06%とややプラス寄与となりました。米国国債金利が上昇したことから、満期の長い債券は不調であり、米国7-10年国債は0.27%、米国超長期国債は0.51%のマイナス寄与となりました。同様に米ドル建て投資適格社債も0.03%のマイナス寄与となりました。その他、米ドル建て短期投資適格社債は0.01%のプラス寄与、円高による影響を受けたことから世界の国債(米国除く)が0.02%のプラス寄与となりました。

■当資料は、当商品の内容をご説明するために作成されたものであり、当該投資信託の勧誘を目的とするものではありません。■投資信託は、株式など値動きのある証券等(外貨建資産に投資する場合には為替リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元金および運用成果が保証されているものではありません。投資信託の運用による損益は、購入者に帰属します。■当資料は、株式会社お金のデザインが信頼できると判断した諸データに基づいて作成しましたが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、上記の実績・データ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。■投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。